

介護職の人材育成・ 人材マネジメントのヒントを情報発信！

～介護職員及び組織に対する育成をトータルサポート～



NEWS LETTER

発行元：ピーエムシー株式会社

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺 1-35-4

TEL:0256-47-3686 FAX:0256-35-0158

<https://www.pmc-jinzai.com/>

過去のニュースレターは HP からご覧いただけます

介護リーダーの役割と生成 AI の活用

こんにちは ピーエムシー株式会社の斎藤洋です。

生成 AI は急速に進化しており、介護福祉の現場でもさまざまな分野で活用が始まっています。

ピーエムシーでも、介護リーダー育成においてリーダーの「思考のサポート」をしてくれる存在として、生成 AI を活用したいと考えています。

今回はこのトピックについてもう少し具体的に考えてみようと思います。

生成 AI とは何か？

生成 AI とは、「文章や画像、音声などを自動で生成する人工知能」のことを指し、以下のように様々な種類の生成 AI が開発されています。

- ・ **文章生成 AI** (例：ChatGPT)
：文章の作成、要約翻訳などに利用可能
- ・ **画像生成 AI** (例：DALL・E)
：イメージの具体化や資料作成に活用
- ・ **音声認識・生成 AI** (例：Whisper など)
：会話記録や議事録作成に有効介護業界でも会議録の自動化など、実務支援ツールとしての可能性が広がっています。

リーダーの役割と生成 AI の活用

ピーエムシーが実践している「介護リーダーのための人材育成プログラム」では、受講するリーダーが自部署の課題を見つけ、その解決に取り組むことを重視しています。

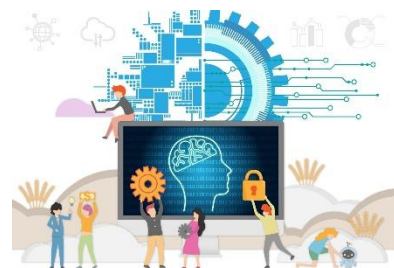
この過程でリーダーが最も苦労するのが「目標設定」です。自部署の課題を明確にし、具体的で実現可能な目標を立てるのは意外と難しく、私自身も昨年度はこの指導に苦労しました。

そこで今年度は、目標設定を生成 AI にサポートしてもらうことにしました。

例えば「**ご利用者の笑顔を引き出す**」といった抽象的な目標を、「もっと具体的で測定しやすい目標にして 10 個挙げて」と AI に頼むと、「**1 日 1 回、利用者と個別にコミュニケーションを取り、どんな話題に良い反応があったか記録する**」など、具体的な目標を提案してくれます。

AI は私たちが思いつけない視点からも意見を出してくれるので、とても参考になります。

介護職だけでなく、他の職種でも「思考をサポートする役割」として活用できるだろうと感じています。



AI を自分の「育成コーチ」として使う時代に

大学教育や他産業において、人材育成に AI を活用する動きが急速に進んでいます。

介護事業においても、職員一人ひとりが AI を“コーチ”のように活用し、ケアの質向上や業務効率化に役立てることができるようになると思います。

そこで大事なのが「どのように使えば自分の成長につながるのか」という視点です。

AI 活用を個々の職員に任せるのではなく、組織として、職員への AI 教育や活用方法の共有に取り組むことで、より良い現場づくりが可能になると思います。

主任研修講師 斎藤 のつぶやき



上記の取組をはじめるとなると、介護職の皆さんに色々と現状を聞いています。リーダークラスの職員さんのうち、だいたい半分くらいは「AI に興味はあるけど実際に使ったことはない」「何となく怖い」などやや及び腰の方が多く印象です。生成 AI のメリットとデメリットの両方を正しく理解し、便利に楽しく使ってもらえるよう、今後も生成 AI のことを学び、伝えていきたいと思っています。